

松江らしい産業振興策の創出に向けて

目 次

1. はじめに

2. 3つのまちづくりの視点による産業振興政策

(1) 「住みたくなるまちづくり」～定住人口の確保～

- ① 若者に選ばれる魅力あるまちとは
 - I 転出せずに松江に住み続けたい若者の希望をかなえられるまち
 - II 松江から一旦転出した若者が帰ってきたくなるまち
 - III 市外から松江に来ている学生（島大・県大・高専・専門学校）が住み続けたくなるまち
 - IV 全国のUターン・Iターン希望者に選ばれるまち
- ② 新たな連携による地域経済の活性化
- ③ 変革と見直しによる地域経済の活性化
- ④ 創造による地域経済の活性化
- ⑤ 事業継承による地域経済の活性化

(2) 「行きたくなる、また訪れたいまちづくり」～交流人口の増加～

- ① 観光振興施策のバージョンアップ
- ② 受け入れ環境の整備や新たな魅力づくり

(3) 「気になるまちづくり」～関係人口の増加と様々なスタイルでのまちづくりへの参加促進～

- ① 松江出身者とのつながりを大切にする
- ② 松江に住んだことのある人とのつながりを大切にする
- ③ 松江を訪れたことがある人とのつながりを大切にする
- ④ 松江に関心がある人を大切にする

松江らしい産業振興策の創出について

1. はじめに

これまでもたびたびお話してきたとおり、今、松江市では若者や女性の市外転出が進んだことで生まれてくる子どもたちの数が年々減少しており、今や年間 1,500 人を割り込んでいる状況です。このままいけば、人口が 20 万人を切る日が早晚やって来るものと推計されており、松江市はいよいよ本格的な人口減少、少子高齢社会を迎えることとなります。

そして、さらに問題なのは総人口の減少だけではなく、次代を担うべき若者が全体に占める人口構成比率です。この比率が年々低下しているまちは将来にわたって持続可能なまちとは言えません。私は、こうした現状を踏まえつつ、「人口」は松江のまちの経済活力を示す重要な指標であるにとらえています。

例えば、国勢調査の人口数は、令和 2 年度の松江市当初予算における歳入の 2 割弱を占める普通地方交付税 185 億 6 千万円余の算定基礎数値となっていますし、定住人口や交流人口などが、年間、一人当たりどの程度の消費活動を松江市内で行うのが、地域経済に直接的に大きな影響を与えるからです。

将来にわたって松江のまちを魅力あふれるまちとして次の世代に継承していくためにも、持続可能なまちづくりの視点をもって、若者の定住策、若者が住みやすいまちづくりに積極的に取り組むことで、人口問題に正面から向き合っていかなければならないと考えています。

そのためにも、これからは「定住人口」、「交流人口」、「関係人口」の 3 つの人口の確保や増加の実現という視点を持った産業振興策、地域振興策に取り組むべきだと考えています。

さて、私が考えている「人口問題に対応した産業振興策」の 3 つのテーマは、まず、将来を担う若者の定住を促進するための「住みたくなるまちづくり」、次に、観光やビジネスなどで松江を訪れる人々にとって「行きたくなる、また訪れたくなるまちづくり」、そして 3 つ目が、大都市圏に住んでいる松江出身者などをはじめ、普段は離れた場所に住んでいても、松江のことを常に気にかけてくれている人々にとって、いつも松江のことが「気になるまちづくり」の実現です。

これからこの 3 つのまちづくりの具体的な内容についてお話をしたいと思います。

2. 3 つのまちづくりの視点による産業振興政策

(1) 「住みたくなるまちづくり」～定住人口の確保～

若者を中心とした定住人口の確保のためにも、各産業分野における、「魅力」、「連携」、「変革」、「創造」、「継承」をキーワードに、将来を担う若者や女性に魅力ある雇用の維持・拡充、創造に取り組まなければなりません。

①「若者に選ばれる魅力あるまち」とは

今、松江のまちに関わってくれている若者の、それぞれの立場や希望に合った4つのまちの実現に取り組んでいくことが重要です。以下、4つのめざすべき「まち」の姿と取り組むべき施策についてお話します。

I 松江に住み続けたい若者の希望をかなえられるまち

まずは、松江をはなれることなく、そのまま住み続けたいと希望している若者の希望をかなえられるまちです

【取り組む施策】

- ・若者に魅力ある雇用や職種の創出（事務系・IT系の職場、水辺のカフェやおしゃれなアパレルショップなど）と自ら創業・起業したい人への支援
- ・若者が何度でも創業起業にチャレンジでき、それを支援する環境づくり
- ・高卒・短大卒など若い人ほど多い離職者を再度、就職につなげるマッチングの仕組みづくり。
- ・女性就業人口の多い、医療・福祉分野の雇用環境の改善と人材育成への支援
- ・地元就職率の高い専修学校への支援
- ・市内小中高大で一貫したIT人材の育成と地元IT企業採用の仕組みづくり
- ・工場見学の機会確保とVR工場見学システムの実現
- ・産業界と連携した人材育成（産業界が求める人材の育成）

II 松江から一旦転出した若者が帰ってきたくなるまち

次に、一旦、進学などで市外に転出してしまおう若者が帰ってきたくなるまちです

【取り組む施策】

- ・転出後、切れ間のない若者へのメディアやSNSによる地元情報の発信
- ・企業インターンシップ環境の充実
- ・地元企業情報、採用情報の提供
- ・参加しやすい就職フェアの開催（大都市開催やWeb開催など）
- ・親世代への就職情報の提供

III 市外から松江に来ている学生（島大・県大・高専・専門学校）が、住み続けたくなるまち

続いて、市外から進学で松江に来ている若者が住み続けたくなるまちです

【取り組む施策】

- ・企業インターンシップ環境の整備（再）
- ・地元企業情報、採用情報の提供（再）
- ・まち歩きやお祭りへの参加など、松江の魅力を体験できる事業の実施
- ・地域住民との交流ができる居住の支援

IV 全国の U ターン・I ターン希望者に選ばれるまち 最後に、U・I ターンを希望する人に選ばれるまちです

【取り組む施策】

- ・ 松江の魅力発信事業（シティプロモーションの推進）
- ・ 県や定住財団と連携した定住施策の推進
- ・ UI ターン相談窓口のワンストップ化の実現
- ・ 定住希望者を支えるサポーター制度の実施
- ・ 松江版 CCRC など高齢者移住受け入れ体制の検討、整備

②「新たな連携による地域経済の活性化」

限られた地域資源を有効に活用していくために」、関係機関の連携を一層強めていかなければなりません

【取り組む施策】

- ・ 各界各層の代表による「(仮称) 松江市経営会議」の立ち上げ
情報共有と連携による地域資源の有効活用を図るための連絡会議
- ・ 会議所、商工会、JA、JF、森林組合の連携による6次産業化の推進
マーケティング結果を踏まえた付加価値の高い売れる商品作りと
販路開拓システムの構築
- ・ 産業としての福祉、医療分野の連携、振興を図る組織の検討（商工会議所内）
スケールメリットの発揮と人材確保策の確立、雇用環境の改善を図る
- ・ 地元産業と連携した高等教育機関での人材育成（地場産業が求める人材の育成）
- ・ 全産業におけるBCP（事業継続計画）の策定支援
- ・ 企業間での若者の出会いの場（松江縁結び）事業の構築

③「変革と見直しによる地域経済の活性化」

常に、各産業の現状の課題を認識し、必要な改革に取り組み、検証するサイクルを確立しなければなりません

【取り組む施策】

- ・ 産業の各分野におけるIT技術の活用と、生産性向上の実現
- ・ 製品に付加価値を付け利益率の向上の図ることができる支援策の検討
- ・ 利益配分率の見直しや同一労働同一賃金による若い世代の年収増の実現
- ・ 働き方改革の実現（若者や女性の働きやすい環境づくり）
- ・ ものづくりアクションプランの検証、アップデートの実施
- ・ Ruby City Matsue プロジェクトの検証と再構築の実施
IT技術を活かせるまちづくりと人づくりの推進

④「創造による地域経済の活性化」

常に、新たな分野における可能性を創造しながら産業の活性化を図らなければなりません

【取り組む施策】

- ・企業誘致の推進による雇用の創出
- ・若者や女性に魅力ある雇用の創出（再）
- ・日本一創業起業がしやすいまちづくり
やりたいことの実現のため何度でもチャレンジできるまちづくり
- ・もうかる農業への転換の推進
マーケティングとIT技術の活用により、生産管理ができる産業へ変革
スマート農業の推進
農水商工連携事業の推進
地産地消の推進
- ・陸上養殖をはじめとする育てる漁業の推進
あわび・岩ガキ・赤貝などブランド力・付加価値の高い商品の養殖
生産から販路確保までを一体的に管理する総合的な組織の設立の検討
- ・森林贈与税とデジタル技術を活用した豊かな森林づくりの推進
公共性・公益性の高い森林整備事業の創出による新規雇用の創出
豊かな水資源を守る森林管理の実現
災害からまちを守る森林づくりの実現

⑤「事業継承による地域経済の活性化」

これまで、ながきにわたり松江を支えてきた基幹産業を守り、継承し、活性化を図っていかねばなりません

【取り組む施策】

- ・ものづくりアクションプラン搭載事業の検証と活用の推進
- ・中小企業制度融資、商業活性化支援事業の実施（チャレンジショップなど）
- ・事業継承支援事業の推進
- ・伝統工芸品の付加価値を付け、ブランド化を実現
- ・儲かる産業育成による後継者育成プロジェクトの推進
- ・外国人労働者の相談窓口の充実

(2)「行きたくなる、また訪れたくなるまちづくり」～交流人口の増加～

歴史や伝統文化、芸術と景観など訪れる人を心豊かにする松江のまちに一層磨きをかけ、国内外の観光客が何度も訪れたくなるまちづくりを進めなければなりません。

①「観光振興策のバージョンアップ」

松江でしか経験、体験できない魅力を再発見して、磨きをかけ、何度でも訪れたいと思えるまちづくりに取り組みます

【取り組む施策】

- ・松江の文化力を活かしたまちづくりに立脚した観光振興の推進
本物が体験できる唯一無二の観光の魅力づくり
- ・国宝松江城と水の都の強みを活かしたブランディングの推進
- ・松江ならでの食のブランディングの推進
- ・ナイトタイムエコノミーの推進
- ・松江に合ったインバウンド事業の検討と導入
- ・新たな観光財源（宿泊税等）の検討
- ・古民家を活用した宿泊、飲食、ものづくり体験などができる面的なゾーンの整備
古民家再生事業による、建築、設計、内装などの事業者支援のサイクル創出
宿泊・飲食・ものづくり工房などの店舗展開事業の開始
- ・バリアフリー・ツアーの積極的な展開と受け入れ体制の整備
- ・温泉や薬用ニンジンなどを活用した健康観光ツーリズムの創造
玉造温泉・まつえ宍道湖温泉などでの温泉を活かした健康づくり
八束町などでの薬草栽培により健康のまちづくり事業
- ・医療機関と連携したインバウンド向け人間ドック健康ツアーの造成
医療通訳者の育成による雇用の創出

②「受け入れ環境の整備と新たな魅力づくり」

松江のまちのおもてなしの気持ちを感じてもらえる環境整備と新たな魅力となる水辺を活かしたまちづくりを進めなければなりません

【取り組む施策】

- ・松江城などの文化財をはじめ、観光拠点の施設、周辺環境の計画的な整備
- ・トイレや歩道をはじめとする観光地としての受け入れ環境の整備
- ・宍道湖・大橋川・中海沿岸の水辺を生かした新しいまちの魅力の創出
水辺のカフェ・屋台など
- ・国内外に誇れる水上交通の事業可能性の検討
水上タクシー・水上バス・ソーラー遊覧船など
出雲・米子空港から市内への水上交通・境港と美保関を結ぶシャトルバス

(3)「気になるまちづくり」～交流人口の増加と様々なスタイルでのまちづくりへの参加促進～

松江市出身者や松江赴任者、ビジネスや観光で松江を訪れた人、来たことは無いけど興味関心を持ってきているすべての人に松江との縁をもっといただき、可能な形で関りをもっといただける仕組みづくりに取り組まなければなりません。

①松江出身者とのつながりを大切にする

大都市などで活躍されている松江出身の皆さんとの縁を結び、まちの情報を積極的にお届けし、まちづくりに参画していただける仕組みを構築しなくてはなりません

【取り組む施策】

- ・松江出身者へのアプローチとデータベース化、市政情報提供システムの構築
- ・観光大使のデータベース化と市政情報の提供システムの構築
- ・ふるさと納税のお願い
- ・企業版ふるさと納税のお願い

②松江に住んだことのある人とのつながりを大切にする

転勤などで松江に住んだ経験のある皆さんとの縁を継続させ、積極的にお届けし、まちづくりに参画していただける仕組みを構築しなくてはなりません

【取り組む施策】

- ・大手企業の松江支店勤務者と市のネットワークの構築
- ・観光大使のデータベース化と市政情報の提供システムの構築
- ・松江情報の継続した提供
- ・ふるさと納税のお願い
- ・企業版ふるさと納税のお願い

③松江を訪れたことがある人とのつながりを大切にする

観光やビジネス、スポーツ大会への参加などさまざまな理由で松江を訪れていた皆さんとの縁を継続させ、積極的にお届けし、まちづくりに参画していただける仕組みを構築しなくてはなりません

【取り組む施策】

- ・コンベンションシティ松江の実現
アフターコンベンションの充実
- ・フィルムコミッションによる松江の情報発信
- ・スポーツコミッションによる地域経済活性化の推進
- ・観光客による松江城大規模改修などの文化政策への寄付の呼びかけ

- ・ 来訪者のデータベース化と積極的な松江情報の提供システムの構築

④松江に関心がある人を大切にする

さまざまなメディアなどを通じて松江に興味関心をもっていただき、いつか訪れてみたいと考えている皆さんとの縁を新たに結び、まちの情報をもっとお届けし、松江に来ていただきファンになっていただける仕組みを構築しなくてはなりません

【取り組む施策】

- ・ シティプロモーションの推進
- ・ 観光プロモーションの推進
- ・ ふるさと納税を通じた松江の PR の推進